

【河川】 河川担当職員による 「技術力向上に向けた取り組み（第3回）」を実地しました！

1. 背景／目的

○背景

河川担当の技術職員は、事業調整、設計積算、工事監督、維持管理などの幅広い業務を実施している。また、技術職員の年齢層も、若手職員から実務経験の豊富な職員まで幅広い。

○目的

山形河川国道事務所河川担当職員同士が、**治水事業の実施事例などを通して意見交換**していくことで、河川担当職員全体の**技術力の向上**を目指す。

2. 取り組み概要

ファシリテーターのリードにより、管内の治水事業の実施事例（調査・設計・工事・事業調整など）を振り返るとともに、検証しながら治水対策に向けたプロセスについて習得する。

- 検証事例 : 少数家屋の治水対策
参加者 : 河川副所長（ファシリテーター※）、河川担当職員（3班11人）
実施日時 : 平成30年10月29日（月） 13:00～14:30
検討項目 :
- ・ 技術的な検討（設定根拠と留意点）
 - ・ 地元調整（機関名等と内容・タイミング）
 - ・ 工事（タイミングとクリティカルポイント）
 - ・ 維持管理（留意点）

※ファシリテーターとは・・・

ディスカッションの内容を整理しながら進める司会進行役です。参加メンバーの意見に相槌を打ちながら質問を投げかけ、議論を活性化することが主な役割となります。

3. 第3回の状況

